

2023 年度 環境経営レポート

柳金属株式会社

対象期間 2023 年 1 月～12 月

2024 年 3 月 6 日作成

1.環境経営方針

～環境理念～

当社は、一般廃棄物処理という業種から環境に及ぼす影響が少なからずあると考え再資源化を努力して参りましたが、環境経営システムを導入することにより一層効果的な活動を展開できると考えております。

企業の社会的責任の一つとして、次世代により良い地球環境を引き継ぐ義務があると考え地球温暖化の防止・水資源の保護など環境負荷低減に対し、計画的かつ継続的に行動し環境の保全に配慮する活動を従業員一体となって実行致します。

～行動指針～

当社は、環境理念の実現に向けて日常の事業活動の環境保全に配慮して行動をすることを経営上の重要課題として次の行動目標を定めます。

1. 環境に関する法令を遵守し地球環境の保全に努めます。
2. 環境経営方針を全従業員に周知・徹底・教育し環境保全に対する知識と意識の向上を図ります。
3. 環境経営目標として次を掲げ取り組み、継続的改善を実施します。
 - ☆水資源の保護
 - ☆二酸化炭素の排出抑制
 - ☆廃棄物の排出抑制
 - ☆容器包装プラスチックのリサイクル率の向上
 - ☆地域環境への貢献
4. 環境経営方針は必要に応じて社外にも公開します。

制定日 2009年1月30日

改定日 2023年8月28日

柳金属株式会社

代表者 田中熙東

2.組織の概要

①事業所名及び代表者

柳金属株式会社
代表取締役 田中 熙東

②所在地

本社 東京都練馬区貫井5丁目3番3号
新倉リサイクルセンター 埼玉県和光市新倉7丁目8番22号
下新倉営業所 埼玉県和光市下新倉5丁目25番48号

③環境管理責任者氏名

環境管理責任者 常務取締役柳康雄
連絡先 TEL048-467-1618 FAX048-467-2300

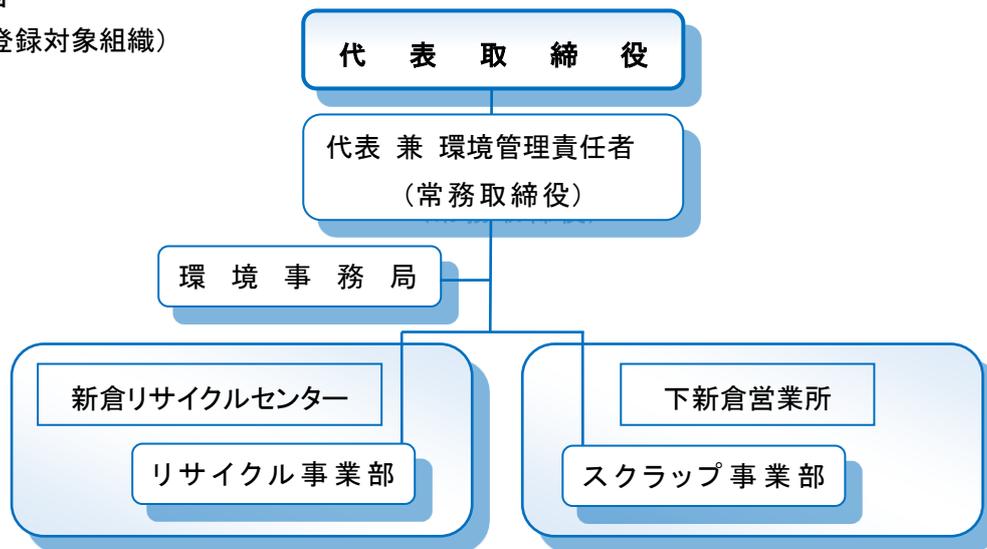
④法人設立年月日 昭和36年5月1日

⑤資本金 1000万円

⑥売上高 7.1億円(2023.5.1~2024.4.30)

⑦組織図

(認証・登録対象組織)



代表者の役割

職員にエコアクションの取組の周知
システム運営に必要な人材・設備・資金及び情報の確保
各責任者の任命 環境経営方針の策定
経営における課題とチャンスを整理し明確にする
代表者による全体の取組状況の評価及び見直し
環境経営レポートの承認

環境管理責任者の役割

環境経営目標の達成状況を代表者へ報告
取組結果の評価
関係各者へ提案の結果に基づいた必要な指示
前年度指示事項についての実施報告

推進員の役割

システムの確立及び運営の推進
環境経営計画の運営の推進
活動の確認、報告

各部責任者の役割

システム全体の調整
システムの確立及び運営の推進

環境事務局の役割

システム全体の調整
環境経営計画の策定
環境経営計画の実施
各部の活動報告の取りまとめ
報告書、環境経営レポートの作成

職員の役割

推進員の指示に従ったシステムの運用
日常の事務事業活動における環境の配慮

3.事業の内容(1)新倉リサイクルセンター

①事業の概要

プラスチック中間処理の受託（一般廃棄物）

自治体の委託により、使用済み容器包装プラスチックを受け入れ、
破袋・選別・圧縮・梱包・保管しプラスチック再利用事業者に引き渡す。

②許可の内容

1. 「一般廃棄物処分業」許可：市町村の委託で「容器包装リサイクル法」のプラスチック類を収集運搬・中間処理する場合は「廃棄物処理法」の特例で許可は不要。
2. 「産業廃棄物収集運搬業」許可：(埼玉県 01110051409)
および(東京都 第 13-00-051409 号)（但し保管施設については現在非使用）
3. 「産業廃棄物処分業」許可：(埼玉県 01120051409)（但し破碎施設については現在非使用）

③事業の規模、施設等の状況

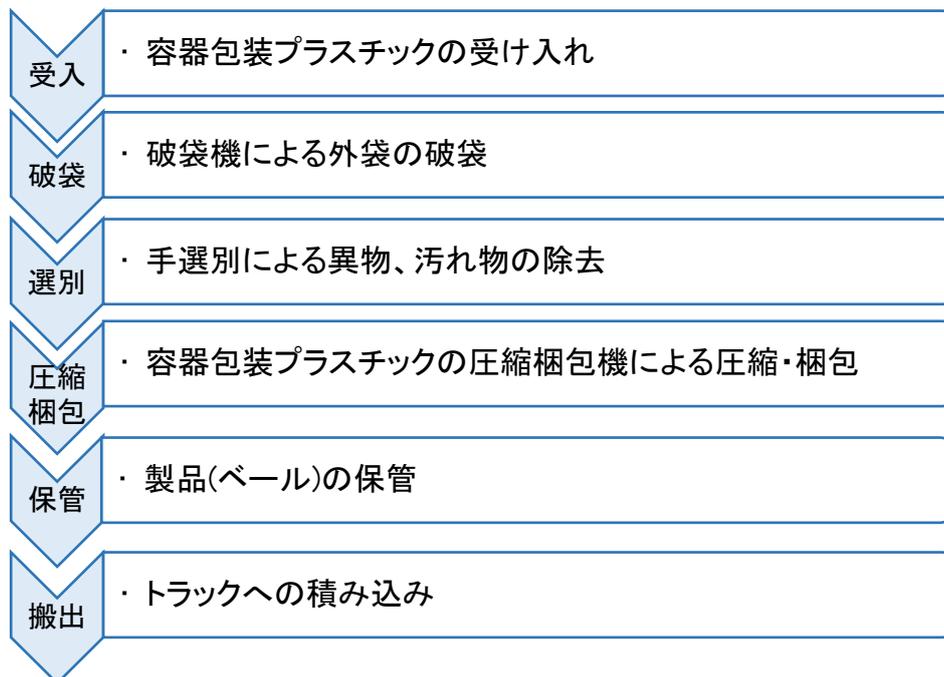
- ☆従業員数 20 名
- ☆事業所敷地面積 1416.88 m²
- ☆車輛等保有
 - フォークリフト(電気式) 2 台
 - パワーショベル(電気式) 2 台

☆主要設備

- 破袋機 2 台 (処理能力 38.5t/日 × 2 台)
- 圧縮梱包機 2 台 (処理能力 37.4t/日 × 2 台)

☆プラスチック処理量(一般廃棄物) 5,416トン(2023 年)

④処理工程図



3.事業の内容(2)下新倉営業所

①事業の概要

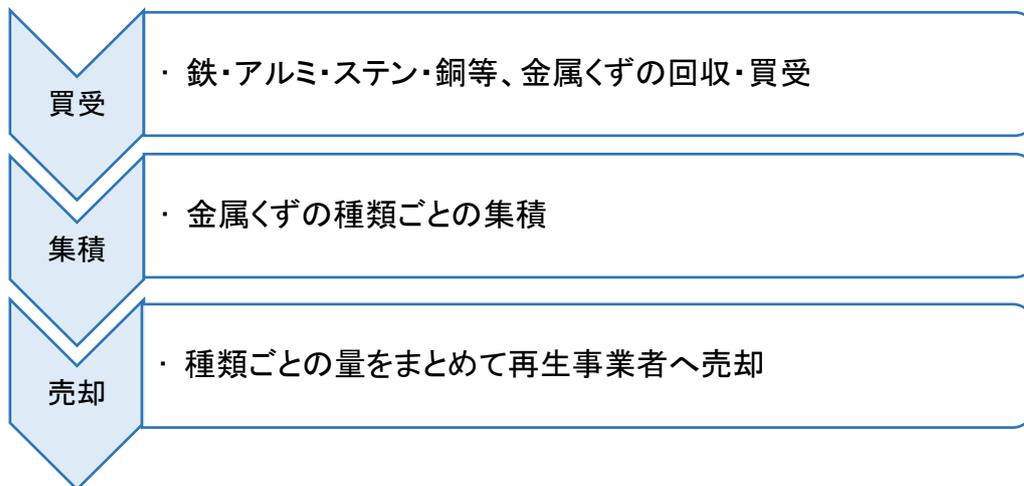
スクラップ買受

金属くずの回収、小口での買い受けを行い集積し種類ごとに再生事業者へ売却。

②事業の規模、施設等の状況

- ☆従業員数 5名
- ☆事業所敷地面積 815 m²
- ☆車輛等保有
 - 車輛:トラック(軽油) 5台
- ☆主要設備
 - 重機:パワーショベル(軽油) 2台
- ☆スクラップ取扱量 6,632トン(2023年)

③処理工程図



4.環境経営計画

取組内容	活動内容	実施方法	取組手順
水道水 使用量の 削減	節水の周知徹底	環境管理責任者が毎月初めの朝礼にて全社員に節水を呼びかけます。	環境事務局にておもだつた蛇口に節水喚起の張り紙や札を貼り付けます。
	配管漏水点検	環境事務局にて毎月一度、チェックシートを活用し点検します。	推進員により週1度1階から3階まで配管の点検をします。
	雨水利用	全社員にて雨水を樹木への散水、清掃に利用します。	利用前に貯水状況確認。雨水タンクに貯まっている限り一年を通して実施します。
評価方法		和光市水道事業「使用水量のお知らせ」より比較・チェックする。	
電力 使用量の 削減	不使用時照明をこまめに消す	環境管理責任者が毎月初めの朝礼にて全社員に節電を呼びかけます。	環境事務局にておもだつた照明に節電喚起の張り紙や札を貼り付けます。
	待機電源の削減	環境管理責任者を中心に一つずつ待機電源の削減方法を検討します。	機器の変更や、スイッチ付きコンセントを利用します。
	室内温度設定の改善	おもてだつた箇所に温度計を設置します。	室温を冷房時は26度、暖房時は22度を目標とし、エアコンやストーブを調節します。
評価方法		東京電力「電気使用量のお知らせ」より比較・チェックする。	
軽油使用量 の削減	アイドリングの禁止	環境管理責任者が毎月初めの朝礼にて全社員にアイドリングの禁止を呼びかけます。	待機中はエンジンをきります。
	回収効率の向上	スクラップの引取量の予測をし効率よく運べるようにします。	運転手や引取現場の方に状況などを聞き無理のない範囲で予定を組みます。
評価方法		購入先の請求書により使用量を比較・チェックする。	
容器包装プラ のリサイクル 率の向上	分別を強化する	環境管理責任者が毎月初めの朝礼にて全社員に呼びかけます。	リサイクル率の向上を目標としていることを周知します。
		選別員の配置	選別員の能力に応じて適切に配置します。
評価方法		残渣の1㎡のサンプルから、リサイクル可能な溶りプラの量を計測し、比較・チェックする。	
コピー用紙 使用量の 削減	コピー用紙裏紙活用	全社員協力の下、裏面利用可能な用紙を、リサイクルBOXに入れてもらいます。	コピー機の手差し部分に裏紙を設置し可能な限り裏紙を利用していきます。
	事務処理のペーパーレス化	全社員協力の下、書類はできるだけパソコンへの保存にします。	印刷は最小限とします。
	シュレッダー書類の限定	全社員協力の下、シュレッダーは機密文書に限定します。	できるだけ古紙再生に回せるようにします。
評価方法		コピー用紙在庫管理表(毎月末締・A4換算)より比較・チェックする。	
清掃 緑化維持	周辺道路、場内側溝の清掃	各推進員が中心となり、4Sチェックシートを活用します。	周辺道路は毎日、場内側溝は定期的に清掃をします。
	場内緑地の手入れ、管理	全社員協力の下、4Sチェックシートを活用します。	芝刈りや雑草の草むしりをします。
評価方法		4Sチェックシートを活用・記録し定期的に自己評価点を付ける事により比較・チェックする。	

5.環境への取組結果と評価 次年度の取組事項及び取組目標

2022年1月～12月(1年間)の実績を基準値とし、2023年の取組結果とそれぞれの取組内容に対する目標実績を基に代表者兼環境管理責任者が2024年2月9日に評価を行い次年度の取組をまとめました。

なお、新倉の水道使用量の比較は一営業日当たり、電力使用量の比較は事業であるプラスチック入荷量当たりの原単位により行うこととしています。

また軽油使用量の比較は事業であるスクラップ取扱量1t当たりの原単位により行うこととしています。

環境目標		取組内容	目標値	実績値	評価
水資源の保護	新倉	水道水使用量の削減 (m ³ /営業日数)	1.36	1.42	×
	下新倉	水道水使用量の削減 (m ³)	160.4	201	×
二酸化炭素の排出抑制	新倉	電気使用量の削減 (kWh/プラ入荷量t)	35.00	37.67	×
	下新倉	軽油使用量の削減 (ℓ/スクラップ取扱量t)	7.39	6.42	○
容器包装プラスチックのリサイクル率の向上	新倉	残渣1m ³ あたりの容リプラの削減	7,961	8,212	×
廃棄物の排出抑制	新倉	コピー用紙使用量の削減 (枚/A4)	10,643	12,625	×
地域環境への貢献	新倉	清掃・緑化維持 (点)	90	92	○
	下新倉		90	93	○

※2023年の当社の二酸化炭素排出量は197,138.8kg-CO₂です。

※電気の排出係数はR4年度実績(R5.12.22公表)東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数0.390kg-CO₂/kWhを使用しております。

※新倉の水の年間使用量の総量は441m³です。 ※下新倉の水の年間使用量の総量は201m³です。

※新倉の年間電気使用量は204,023kWhです。 ※下新倉の年間軽油使用量は42,563ℓです。

☆水資源の保護・・・《取組》水道水使用量の低減

日々節水を心掛けていたが、新倉リサイクルセンター・下新倉営業所ともに目標達成できなかった。原因として散水、清掃を日常的に行った為と思われるが、今後はさらに洗車時の節水や、その他の水道使用時に無駄がないよう再度確認し達成できるよう努力していきたい。

次年度の取組・・・継続(特に漏水等設備異常時の対応を迅速に出来る様、点検していく。)

☆《取組》電力使用量の削減(新倉リサイクルセンター)

目標値を上回ってしまった。コロナ禍の影響でテイクアウト需要が高まったことによりプラ取扱量が増えていたが、コロナ禍が終息に向かい取扱量が落ち着いたこと、それに加え容器包装プラの軽量化もあり厳しい結果となった。

また、ここでは重機・フォークリフトを含めてすべて電動のため、生産プロセスにおける電気使用量削減は難しいこと、またスポットエアコンの増設等、以前より冷暖房のフル稼働も多くなったこと等もあり、今後電力使用量の削減は難しい課題となっていくであろう。

不要な電気のスイッチを切る等の周知を徹底し、出来る努力を重ね、少しでも電力消費を抑える様に努めたい。

次年度の取組・・・継続

☆《取組》軽油使用量の削減(下新倉営業所)

2022年の軽油原単位実績値をもとに目標値を設定しエコに取り組んできた結果、目標値を下回ることができた。大きな現場が入ったことでスクラップ取扱量が増えたことによるが、今後も運転手や現場の様子など密に連絡をとり、臨機応変な対応をしていくことで削減へと繋げていきたい。

次年度の取組・・・本年の実績 6.42ℓ/tを鑑み次年度の軽油原単位目標値を 1%減の 6.35ℓ/tに設定し、軽油使用量削減に取り組む。

☆容器包装プラスチックのリサイクル率の向上

2022年1月～12月(1年間)の実績を基準値とし、2023年よりリサイクル率の向上を目指すこととした。

毎月、残渣 1 m³をサンプルとして抽出し、その中に含まれるリサイクル可能な容器包装プラスチックを取り出す。その重さを測り、継続してその重さを減らすために選別員による分別の強化を図る。

結果として目標達成とはならなかったが、今後はさらにリサイクル率の向上を目標としていることを周知する等して目標値を目指したい。

次年度の取組・・・継続

☆廃棄物の排出抑制・・・《取組》コピー用紙使用量の削減

裏紙を継続して使用したが目標達成とはならなかった。

誰もが分かるように、手順の可視化を目的として新たに申請書を増やしたことが増加につながったと思われること、また今後も申請業務や工事の有無で左右されるが、

引き続き裏紙使用の徹底や両面印刷の活用等を継続していきたい。

次年度の取組・・・継続

☆地域環境への貢献・・・《取組》清掃、緑化の維持

4S チェックシートを活用し、自己評価を点数化し目標 90 点に対し新倉・下新倉の平均で 92.5 点を取ることができ、目標を達成することができた。日常作業の中にさらに美化意識を持って取り組む姿勢が習慣付けられてきたように感じる。今後も地域環境への貢献を高めていきたい。

次年度の取組・・・継続

6. 今後の取組目標

☆新倉リサイクルセンター

新倉リサイクルセンターでは 2009 年 2 月より環境活動に取り組んでいます。

ここでは今後の取組目標について取りまとめました。

なお、水道使用量の比較は一営業日当たり、電力使用量の比較は事業であるプラスチック入荷量当たりの原単位により行うこととしています。

取組内容		基準値	中期目標				
		2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	2027 年	2028 年
		1 月～12 月					
※水道水使用量の削減 (m ³ /営業日数) (一営業日当たり)	目標使用量		1.41	1.41	1.41	1.41	1.41
	実績使用量	1.42	以下	以下	以下	以下	以下
※電力使用量の削減 (kWh/t) (プラ入荷量t当たり)	目標使用量		37.30	37.30	37.30	37.30	37.30
	実績使用量	37.67	以下	以下	以下	以下	以下
容リプラリサイクル率の向上 g (プラ残渣 1 m ³ 当たり)	目標量		8,130	8,130	8,130	8,130	8,130
	実績量	8,212	以下	以下	以下	以下	以下
コピー用紙使用量の削減 枚 (A4 換算)	目標使用量		12,499	12,499	12,499	12,499	12,499
	実績使用量	12,625	以下	以下	以下	以下	以下
清掃・緑化維持 (4S チェックシートによる自己評価) (点)			90	90	90	90	90
		91.8	以上	以上	以上	以上	以上

※・・・原単位による

※電気の排出係数は R4 年度実績 (R5.12.22 公表)

東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数 **0.390kg-CO₂/kWh** を使用しております。

※新倉の 2023 年の水の年間使用量は 441 m³です。 ※新倉の 2023 年の年間電気使用量は 204,023kWh です。

☆下新倉営業所

下新倉営業所では 2010 年 1 月より環境活動に取り組んでいます。

ここでは、今後の取組目標について取りまとめました。

なお、軽油使用量の比較は事業であるスクラップ取扱量 1t 当たりの原単位により行うこととしています。

取組内容		基準値	中期目標				
		2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	2027 年	2028 年
		1 月～12 月					
水道水使用量の削減 (m ³)	目標使用量		199.0 以下				
	実績使用量	201.0					
※軽油使用量の削減 (ℓ/スクラップ取扱量t)	目標使用量		6.35 以下				
	実績使用量	6.42					
清掃・緑化維持 (4S チェックシートによる自己評価) (点)			90	90	90	90	90
		92.9	以上	以上	以上	以上	以上

※・・・原単位による

※下新倉の 2023 年の年間軽油使用量は 42,563ℓです。

7.環境関連法規の違反 訴訟等の有無

法律・条例 その他名称	規制・規定の内容	環境関連の 設備・施設・作業等	当社の対応状況 (許可、届出、記録、報告等)	届出日許可 日	遵 守 結 果
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (水銀使用製品 産業廃棄物含む)	一般廃棄物 処理施設	ごみ処理施設(圧縮 梱包施設)保管施設	設置許可	2007/11/26	○
			変更届	2023/4/5	○
消防法	消防用設備点検 (機器点検・総合点検) 消火器・報知器 (感知器)	火災報知機・消火器・ 水圧シャッター送水口	消防設備等点検 結果報告書	2024/3/28	○

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

8.代表者による全体の取組状況の 評価及び見直しの結果

2024年2月9日実施

☆環境経営方針等の変更の必要性の有無・指示事項

項目	変更の必要性	対応
環境経営方針	有・ 無	継続のこと
環境経営目標	有 ・無	2024年は2023年を基準値に変更
環境経営計画	有・ 無	継続のこと
実施体制	有・ 無	継続のこと

☆訴訟・苦情の有無、環境コミュニケーション状況

訴訟・苦情等はありません。

練馬リサイクル事業協同組合事務局による講習会・定例会への参加。

ドライバー・作業員から環境事務局へのエコ・環境・清掃(4S チェックシート)実施の報告。

☆代表者より

エコアクション 21 への取り組みを始めてから 14 年が経過した。

この間、社会情勢は大きく変化し、近年は、賃金の引き上げ、社会保険の充実、労働環境の改善等、働いている人へのより手厚い待遇・保護が大きく取り上げられている。

ここで、エコアクション 21 に大きく係るところとして労働環境の改善が挙げられる。

近年の地球環境の変化に伴い、夏は酷暑、冬は厳寒となるなか、労働環境の改善と電気使用量は比例していく等、弊社においても環境目標を達成しづらい状況にある。

掲げた目標の達成・未達成にかかわらず毎月の状況を見える化/共有することが、より環境配慮への意識を高め、取り組みへの意欲向上、継続的改善へと繋がるだろう。

さらに近年の電気料金の値上げ等にも代表されるように、会社を運営するにあたっての経費は年々増加の一途を辿る。

梱包材として購入しているPPバンドの強度を上げ、使用量の削減を行い、PE シートについても価格および廃棄物の観点から、紙管の規格を小さいものに見直す等の試行錯誤をしている。

異常気象や自然災害等厳しい状況は続くが、今後更なる地球環境の悪化を防ぐために一人一人が問題意識を持ち、出来る事を少しでも計画、実行していくための指針となるエコアクション 21 の取り組みを継続していきたい。

代表取締役 田中 熙東